

Workstyle Innovation Consortium

Think Bussines Model

Workstyle Innovation Consortium 紹介

(旧：働き方改革推進コンソーシアム)



本団体の活動履歴

2016年3月：テレワークICT協議会設立



- テレワークを民間から普及させる非営利団体として設立
- 本団体は現在も活動しております (<http://www.telework-ict.info/>)

2018年1月：働き方改革推進コンソーシアム を姉妹団体として設立



- テレワークから派生し、更に事業モデルなど”昭和モデルからの脱却”を考える場として、協議会の姉妹団体として設立
- 昭和モデルとは真逆の、労働力人口の減少、労働生産性、経済活動の成熟化に対して、様々な議論や活動を実施
- コンソーシアムには125社（158名）にご加入頂いております
- 7つの分科会、約40回のイベントを開催いたしました

2023年4月：WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM（WIC）へ

WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM

2018年1月に 働き方改革推進コンソーシアム を設立した際には、高度成長時代の昭和から平成に引き継がれた企業形態への問題提起を行い、少子高齢化社会を見据えた新しい働き方やそれを支援するための技術や仕組みづくりをご支援させていただきました。

COVID19の影響もあり、企業内においてもテレワークの本格的な普及や、働き方に関わる制度や考え方も大きく変わり始めたと考えております。

2023年4月からは “**WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM**” として改名しました。

みなさまのお力添えもいただきながら、次世代の仕組みづくりをサポートするための活動を行っていきます。

引き続き本団体をよろしくお願い申し上げます。

WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM
会長 西田 泰彦

WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUMの活動目的

経済活動の成熟化



低成長時代、ビジネススパンの短寿命化

労働力人口の減少



地方都市分の人口が年間減

労働生産性



OECD加盟諸国
下位グループ

新しい価値観



サステナビリティや
世代間の価値
基準の変化

次の時代にむけて、これからどうするか

- ・ 次の時代を見据えた際に、どのような仕組みや方法論があるのか
- ・ 他ではどのように行っているのか、どのような苦労があるのか



WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM

WICの活動について



WIC定例会 (3回/ 年)

会員

非会員

基調講演や本団体の活動報告、名刺交換会を3回/ 年行います。開催日により会場、オンラインのハイブリッド開催も実施いたします。



WIC主催ウェビナー

会員

非会員 (聴講のみ)

WIC主催によるウェビナーを行います。主には海外も含めたトレンドに関わるテーマ、会員による製品やサービスなどの紹介を実施いたします。



分科会活動

会員

特定テーマにおける分科会や、アライアンスを前提とした啓蒙を行うセールスアライアンスの2種があります。こちらは会員限定の活動になります。



座談会

会員

非会員 (招待のみ)

同業種、職種階層などで情報交換を行う場所も提供いたします。自社で困っている点やトレンドなど、特定の方々との情報交換の場としてご活用ください。

主催ウェビナーについて

働き方応援隊ウェビナー



会員のソリューションをWIC主催ウェビナーで紹介いたします。また機能だけではなく、関わるトレンドなどもご紹介いたします

講演者： 会員
聴講者： 非会員の方も参加できます
参加費： 無償

ビジネス変革応援隊ウェビナー



社会事象やトレンドなどをご紹介いたします。新しいテクノロジーやフレームワーク、また海外テック企業などの動向をご紹介いたします

講演者： 会員・非会員
聴講者： 非会員の方も参加できます
参加費： 無償

ウェビナー一例について（働き方改革応援隊ウェビナー）

【2023年09月14日：ウェビナー】

中小・零細企業でも利用できるBCP通知サービスの紹介



セキュリティと生産性向上を目指すXEENUTS社のEXGATE製品の新しいオプションとして、BCP通知サービスをリリースいたしました。

- ・ 中小・零細企業
- ・ 契約社員やアルバイトを採用されている企業
- ・ 複数社が参加するプロジェクトを実施している企業
- ・ 災害情報とシステムを連携したBCP初期手順の自動化を行いたい企業

会社設定通知の他、利用者個人の通知設定もご利用いただけます。

API連携オプションにより災害時に人手を介さないシステムチェックから結果のPUSH通知～システムへのリモートアクセスなど運用も実現できます。

主催	: Workstyle Innovation Consortium
後援	: 株式会社XEENUTS
参加費	: 無料(事前登録制)
定員	: 20名(申込順で受付：定員になり次第受付終了)
対象	: 中小零細企業、契約社員を採用されている企業、BCP初期手順を自動化されたい企業など

詳細・申込 : <http://workstyleinnovation.org/2023/08/14/wic0914/>

ウェビナー一例について（ビジネス変革応援隊ウェビナー）

【2023年08月29日：ウェビナー】

ドルベースで思考出来る人材を増やそう、円安基調の中でも勝てる事業体へ！

～ 海外売上を伸ばすために、会社の基盤となる「人」＝タレントを強化する準備はできていますか？ ～



Webrain Thinktank は、日本のトップ企業を中心に、そこで働く人たちのインテリジェンスとグローバルで戦う力を高めることをミッションに活動を始め、3,500人を超える卒業生を輩出してきました。同社のトレーニングに参加された人々は、部長や本部長、海外支店のGM、そして経営幹部として活躍されています。

特に米国でのビジネスを加速するためのポイントを解説いたします。

- 自分たち（日本）・相手（米国）を知ることの重要性
- 成功している企業の特徴
- 米国進出するためのポイント
- Webrainが提供しているサービス

主催	: Workstyle Innovation Consortium
後援	: Webrain Think Tank LLC
参加費	: 無料(事前登録制)
定員	: 20名(申込順で受付：定員になり次第受付終了)
対象	: 経営者層、新規事業やビジネス変革担当者など

詳細・申込 : <http://workstyleinnovation.org/2023/08/09/wic0829/>

分科会活動の種別

特定テーマにおける研究



これから本格的に到来する少子高齢化社会や社会事象、また新しいテクノロジーも含めた業種別/ 業務別の**特定のテーマにおける情報交換やモデルの検討**を行います。

セールスアライアンス



社会事象やトレンドに基づいた新しいテクノロジーやソリューションなどを**アライアンスに基づいた啓もう活動や情報交換**などを行います。

ホワイトペーパーなどのドキュメント

ソリューションマップによるアライアンス、セミナーなど

分科会は幹事会社が運営を行い、会の性格により公募、クローズドにて活動を行っています

特定テーマにおける分科会活動 成果物（ホワイトペーパー）

人工知能研究分科会（2018年5月）

日本における中小企業のIT化促進について	
目次	
背景	2
本ホワイトペーパーの目的	3
日本の抱える課題	3
働き方改革関連法とその目的	5
働き方改革関連法律の対応状況（チェック項目）	6
日本の中小企業の現状	7
「働き方改革」に向けたIT活用例	7
労働人口減少の状況における事業継承のための制度や標準化について	8
人事制度・評価の考え方	8
業務システムの現状・トレンドと導入時の考慮ポイント	9
オフィスワーク（モバイル / リモートワーク）～ 中小企業におけるモバイルの活用について ～	9
基幹業務（会計）	12
基幹業務（販売管理）	14
取引先とのデータ連携	16
人工知能テクノロジー（向いている領域 / 日本における適用領域）	19
次世代に向けた投資の考え方：IT化コストと効果の評価【設備生産性】	20
参考資料	22
問合せ先	26
あとがき	28

11社のメンバーにて作成いたしました。
中小企業におけるAI活用についての
ディスカッションと適用にあたってのホ
ワイトペーパーを作成。

<http://workstyleinnovation.org/2018/05/16/workinggroup-ai/>

ワーケーション分科会（2021年5月～）

もくじ	
【はじめに】	3
【分科会にてモニターツアーを行った際の評価について】	6
【ワーケーションにおける各自治体の取り組みに関する考察】	12
【具体的事例の紹介】	13
寄稿 テレワーク浸透の弊害と解決策の一つとしてのワーケーションの可能性	16
【ワーケーションに関わる自治体のモデルと新たなビジネスモデルの模索】	18
寄稿 ワーケーション時の労働法の適用、運用について	23
【ワーケーションを行う上での環境について】	25
【おわりに ワーケーションをサポートされる側への要望】	27
【参考】	
ワーケーションに関連する社内規定等のサンプル	
1. フレックスタイム制に関する労使協定例	
2. 時間単位の年次有給休暇に関する労使協定例	
3. テレワーク勤務規定例	

JTB様、諏訪市様などの協力を得て、
トライアルツアーの実施や各社の試みを紹介
し、効果や課題のとりまとめ、サンプル規定な
どを記載。

<http://workstyleinnovation.org/2021/05/03/workinggroup-workation/>

セールスアライアンス分科会活動

業務改善分科会（2020年3月～）

働き方改革コンソーシアム 業務改善分科会の活動

「DX」って何から始めればいいんだろう？

「これからはDX(デジタルトランスフォーメーション)！」と言われても、真剣に検討する余裕なんてなかったです。あ、くまで限定的なことから、現在の業務を効率化して、まずは未来のことを考える時間を作りませんか

削減したコストで生産的な業務活動を...

社員の高齢化 これからの業務のあるべき姿は？

もっと楽しく もっと自由に働くために

©2022 働き方改革推進コンソーシアム 業務改善分科会

業務改善分科会って？

業務改善分科会とは働き方改革推進コンソーシアムに設立した分科会です。本分科会では業務改善に関する討論を実施しながら、皆様の『働き方改革』実現の推進を目指して活動しています。

働き方改革推進コンソーシアムURL
<http://workstyleinnovation.org/>

業務改善分科会URL
<http://workstyleinnovation.org/2020/04/03/workinggroup-fj/>

分科会メンバー

Info Mart Corporation WsD
GiID XEE NUTS ClassCat FUJITSU

お問合せ先

まずはお気軽にお問い合わせください！

メール
subcommittee-busimp-external@ml.css.fujitsu.com

©2022 働き方改革推進コンソーシアム 業務改善分科会

富士通で保有する独自の手法を活用し、会員の皆様の業務を題材に業務分析・改善を実施しながら、手法自身のエンハンスや習得を目指し、皆様の『働き方改革』実現への推進を目的としています。

<http://workstyleinnovation.org/2020/04/03/workinggroup-fj/>

今までに活動を行っていた分科会について

人工知能適用研究分科会
(セールスアライアンス)

少子高齢化社会を見据え、知見の継承という日本型の人工知能テクノロジーの適用検討を行う分科会。適用における協業各社の知見共有と社内適用の啓もうを行う

RPA研究分科会（大阪）
(セールスアライアンス)

各社のRPA製品の機能差を理解し、お客様に最適なRPA製品の提供とRPAを勧めるための技術者のシェアを実現し、お客様の働き方改革を進める。

IT化よろず相談分科会
(特定テーマにおける研究)

IT化する事に戸惑いを持っている中小企業からの様々な問合せ窓口を設け、働き方改革推進コンソーシアムとして中小企業のIT化の促進を目的とする。
将来的には、質問に対して、適した会員企業を紹介。

テレワーク推進分科会
(セールスアライアンス)

テレワーク、リモートワークのセキュリティソリューションとして提供しているEXGATEをベースに、お客様の業務課題を解決できるための会員協業と仕組みづくり。

座談会について



- ・ 自社で苦労している点に対しての他社での試み
- ・ 現場ではどのように考えているのか？
- ・ 最近のビジネスのトレンドはどうか？
- ・ このような商材があるが、どこに売れるだろうか？

社長同士、総務部門担当者など同じ職種の方々、また特定のテーマで気軽に情報交換を行える座談会を行います。

会員の方々が抱えているお悩みや実務への参考にしていただければと思います。

こちらの実施方法については、改めて事務局よりご案内させていただきます。

ウェビナー一例について（ビジネス変革応援隊ウェビナー）

【2023年07月14日】経営者や事業責任者限定の座談会 Vol.1 経営者や事業責任者限定の座談会 Vol.1 ～ 同じ経営者の意見も聞いてみませんか？ ～



- ・ 事業安定を目指してきたが、成長と共に新しい取組が難しい文化になってしまった
- ・ 組織内のお客様の事業理解が足りなく感じている。新しいアイデアや新しい試みの進捗が少ない
- ・ 若手に対して、どのような接し方やモチベーションを作っているか？
- ・ 企業間アライアンスや協業をどのように行っているか？

事業責任者同士で会社運営をどのように行っているのか？、など、忌憚のない情報交換をクローズド環境で行い、事業運営や経営判断の参考にしていただけたらと思います。

主催 : Workstyle Innovation Consortium
参加費 : 無料(事前登録制)
定員 : 20名(申込順で受付：定員になり次第受付終了)
対象 : 経営者層、新規事業やビジネス変革担当者など

詳細・申込 : <http://workstyleinnovation.org/2023/06/20/0714/>

座談会について②

【社内組織について】

- ・ 安定的してお客様もいて売り上げも上がっている中で従業員も安定してしまっている
- ・ 新しいことに対してのマインドが薄い
- ・ 限られたリソースの中でかじ取りが難しい
- ・ 成長分野の立ち上げを考えているが、兼務するメンバーのハレーションも起きている
- ・ お客様と話ができる営業さんが少なくなっている
- ・ 中間管理職層が問題で40～50代が停滞しており、若手に影響が出ている

【雇用や定着について】

- ・ 採用に伸びやなんでいる
- ・ 開発として採用したが、キッティングの仕事をお願いしたところやめてしまった
- ・ 日本人が減っているので海外のひとを使うことを進めている
- ・ サービスをしながらひとを育てていくようなことを考えている
- ・ 採用の難しさと定着の難しさを感じており、1からカリキュラムを作ったりしている
- ・ みなさんも世代交代は大変な思いをしているなというのもよく分かった

団体の運営について

WIC運営委員会を設立

運営、企画などにおいて、以下の方々のご支援もいただきながら今後の運営を進めていきます

【WIC運営委員会】（社名順）

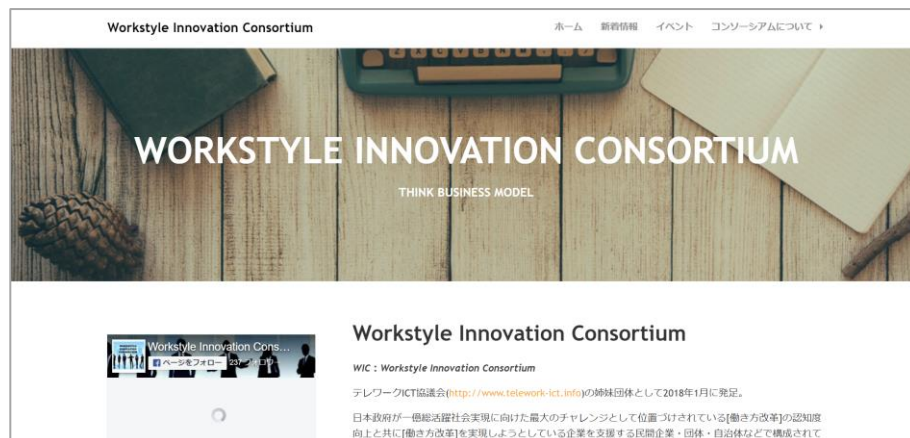
- コンピューテーションアンドイメーシングJ.C.：代表 荒 孝一
- GiiD合同会社：代表 熊澤 剛
- 大道エンジニアリング株式会社 管理部：係長 小林 和貴
- 株式会社MONET：代表取締役 前野 泰章
- 株式会社hersell：代表取締役 本林 早苗
- 株式会社レイ：代表取締役 佐藤 豊美
- 株式会社ミライト・ワン・システムズ エンタープライズ 事業本部
西日本システム部営業G：岩宮 伸幸

本団体について

会員登録申請：<https://workstyleinnovation.org/about/memberreg2/>

会員参加希望の方につきましては参加申し込みをいただいてから、1週間内に参加可否の連絡を事務局から返答させていただきます。

Homepage



<https://workstyleinnovation.org/>

Facebook



<https://www.facebook.com/workstyleinnovation/>

お問い合わせ：office@workstyleinovation.org

Workstyle Innovation Consortium

Think Bussines Model

Workstyle Innovation Consortium

(旧：働き方改革推進コンソーシアム)

ありがとうございました

